

## 7月15日に「防災通信訓練」を実施します ～ 災害発生時の情報収集や自治体支援を強化～

本訓練は、災害対策本部車、衛星通信車などによる現地災害対策本部と被災現場を防災ヘリコプター「みちのく号」をはじめとする、各種移動通信機器を現地で設営接続する訓練を実施するほか、秋田県大仙市への各種画像配信等を行うと共に大仙市長とのテレビ会議システムによる迅速な情報共有を通じて、災害支援体制の強化を図ることを目的に実施します。

### 1. 訓練日時

令和3年7月15日(木) 10:00～15:00

### 2. 実施場所

- ①「大曲の花火」公園(大曲花火大橋下流の雄物川右岸河川敷)
- ②大仙市役所(災害対策室)

### 3. 訓練想定

- ①豪雨により、国道105号秋田県大仙市蛭川地区の土砂崩落により孤立集落が発生
- ②大仙市役所に派遣したリエゾン情報により、画像提供等の支援

### 4. 訓練ポイント

- ①防災ヘリコプター「みちのく号」による被災状況調査
- ②「大曲の花火」公園(設営訓練実施場所)
  - ・「車載型衛星通信装置(Car-SAT)」、「衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)」、「公共ブロードバンド移動通信システム(公共BB)」、「5GHz 帯無線アクセスシステム(i-RAS)」を用いた被災現場からの画像伝送訓練
- ③大仙市役所(災害対策室)
  - ・国土交通省自営光回線による「みちのく号」、「Car-SAT」、「Ku-SAT」の映像配信訓練
- ④東北地方整備局、湯沢河川国道事務所、大仙市
  - ・テレビ会議システムを活用した関係機関との情報共有訓練

### 5. 訓練参加者

東北地方整備局、秋田河川国道事務所、湯沢河川国道事務所、能代河川国道事務所、成瀬ダム工事事務所、鳥海ダム工事事務所、玉川ダム管理所、秋田県大仙市、建設電気技術協会 東北支部

※当日の気象条件等により、訓練を中止又は延期する場合は、湯沢河川国道事務所ホームページでお知らせします。 <http://www.thr.mlit.jp/yuzawa/>

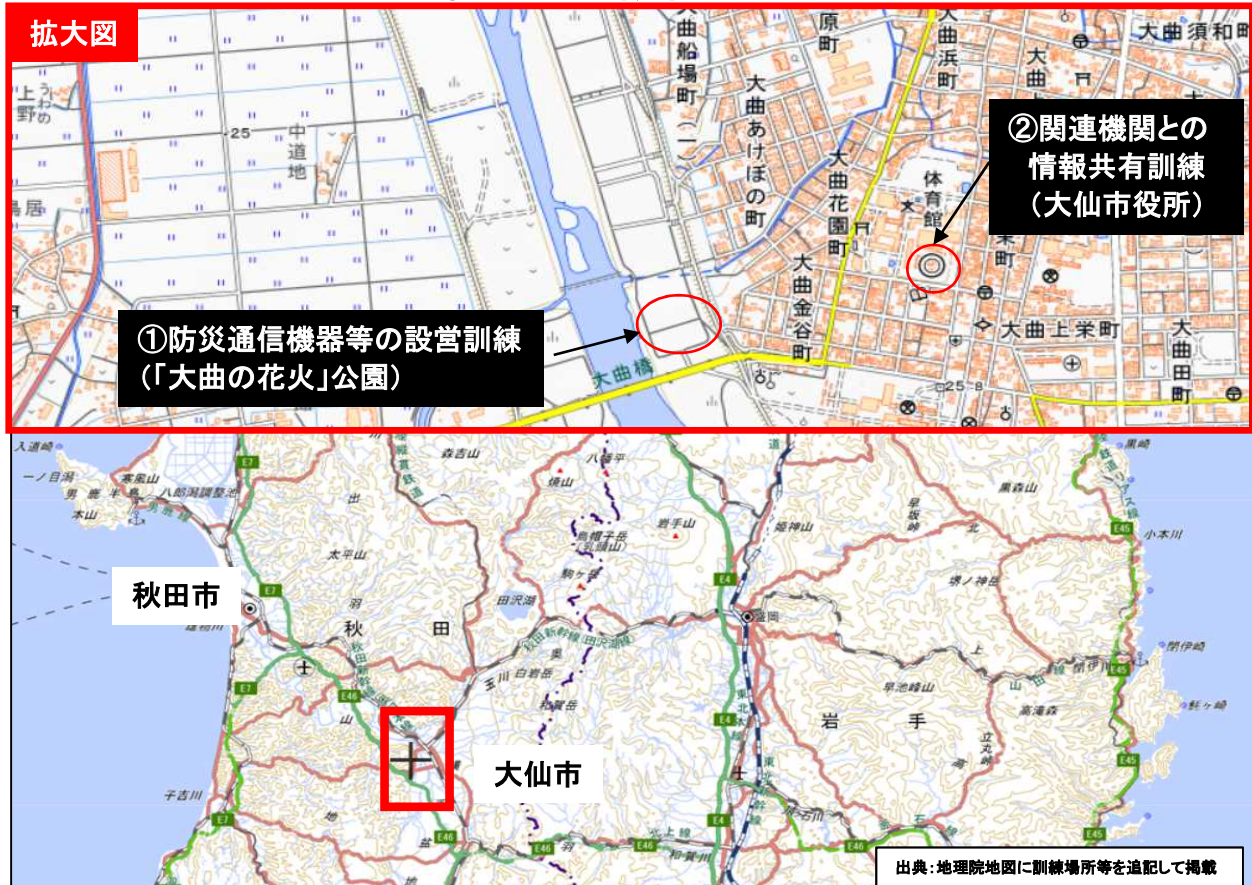
※当日の訓練状況の取材は、10時から「大曲の花火」公園にて可能となっています。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からマスクをご着用頂くとともに各社必要最低限の人数でお願いいたします。

<発表記者会>宮城県政記者会、秋田県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲支局、秋田民報社

国土交通省 東北地方整備局 防災室	TEL:022-225-2171(代表)
防災情報調整官 宮永 悠平	(みやなが ゆうへい) (内線2124)
防災室長 本木 雅信	(もとき まさのぶ) (内線2151)
国土交通省 湯沢河川国道事務所	TEL:0183-73-3174(代表)
副所長(河川) 阿部 健一	(あべ けんいち) (内線204)
防災課長 有江 健治	(ありえ けんじ) (内線281)

## 防災通信訓練 位置図



## 防災通信訓練 スケジュール

時間	対応	場所
	災害対策車両設営訓練・通信機器設営訓練	
10:00	<b>災害対策車両設営訓練・通信機器設営訓練</b> ・災害対策本部車設営 衛星通信車設営開始	①
10:30	・Ku-SAT設営訓練 Car-SAT設営	
11:00	・災害対策本部車設営完了 衛星通信車設営完了	
12:00	<b>多様な通信機器を活用した情報伝達訓練</b> ・Ku-SAT、Car-SATを用いた被災現場からの映像伝送	①
	昼食休憩	
13:00	<b>通信機器設営訓練</b> ・i-RAS設営訓練、公共BB設営訓練	①
13:30	<b>多様な通信機器を活用した情報伝達訓練</b> ・みちのく号、公共BBを用いた被災現場からの映像伝送訓練	①
14:00～	<b>関係機関との情報共有</b>	②
14:15	・テレビ会議システムを活用した支援自治体(大仙市)との情報共有 ※テレビ会議は東北地方整備局、湯沢河川国道事務所、大仙市を接続して実施	
15:00	訓練終了	



# 防災通信訓練 主な防災通信機器の概要



- ・車両に乗車しながら、搭載したカメラで撮影した映像を衛星回線経由で伝送するシステムです。
- ・被災地の状況を走行しながらリアルタイムに途切れることなく、安定的に対策本部などへ配信することができます。

Car-SAT (車載型衛星通信装置)



- ・アンテナの対向通信で約30km程度離れた地点から、映像や音声の配信を可能とする装置です。
- ・現地災害対策拠点に執務室と同様の環境を構築できます。

i-RAS (5GHz帯無線アクセスシステム)



- ・災害現場で指揮を行う車両で、現地災害対策本部として機能します。
- ・情報収集のため各種通信機器を装備しています。
- ・車内でテーブル等を設置し10名規模の打合せが可能です。

災害対策本部車



- ・約5km程度の範囲を移動しながら映像や音声を伝送可能な装置です。
- ・障害物による遮蔽等に強いので、車両の進入が困難な災害現場において移動しながらの映像伝送が可能です。

公共BB(公共ブロードバンド移動通信システム)



- ・衛星通信装置を搭載した車両で、災害現場の映像を送受信したり、通信を確保したり、災害現場の状況把握に利用します。

衛星通信車



- ・持ち運びできる衛星小型画像伝送装置で、災害現場において衛星回線を用いて映像を伝送することができます。

Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)



- ・i-RAS、公共BB等による自営回線を構築することで、災害時にもテレビ会議システムの設営を行うことができます。

テレビ会議システム